

令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 留萌市における結果の概要

I 調査の概要

1. 調査目的

- (1) 子どもの体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力・運動能力や運動習慣・生活習慣等を把握・分析することにより、子どもの体力・運動能力や運動習慣等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 教育委員会、各学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査対象

- (1) 小学生調査 小学校第5学年（留萌市調査実施児童 男子 64名 女子 62名）
- (2) 中学校調査 中学校第2学年（留萌市調査実施生徒 男子 76名 女子 64名）

3. 調査事項

(1) 児童生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（測定方法等は新体力テストと同様）

・小学校調査

〔8種目〕握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

・中学校調査

〔8種目〕握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、持久走（男子1500m、女子1000m）、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ

※20mシャトルランか持久走のどちらかを選択

イ 質問紙調査

・運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

(2) 学校に対する質問紙調査

・子どもの体力の向上に係る取組等に関する質問紙調査

4. 調査実施日

令和3年4月から令和3年7月末までの期間

備考

※ 「Ⅲ 児童生徒質問紙の調査結果の概要」における注釈で使われる全国平均等との差の表現について

・7%以上		相当多い	相当少ない
・5%以上	7%未満	多い	少ない
・3%以上	5%未満	やや多い	やや少ない

II 実技に関する調査結果の概要

1. 用語解説と説明

体力テスト種目	体力要素	測定
握力	筋力	左右握力の平均値
上体起こし	筋パワー・筋持久力	30秒間に上体を起こした回数
長座体前屈	柔軟性	長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離
反復横とび	敏捷性	20秒間に両脚で左右側方に反復跳躍した回数
20mシャトルラン	全身持久力	20m走行の折り返し回数
(中)持久走	全身持久力・長距離走能力	男子1500m、女子1000mの走行時間
50m走	疾走能力	50mの疾走時間
立ち幅とび	筋パワー・跳躍能力	両脚で前方へ跳躍した直線距離
ソフトボール投げ (中)ハンドボール投げ	巧緻性・投球能力	遠投した距離
体力合計点	8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点(80点満点)	
総合評価	8種目の体力テストをすべて実施した場合、体力テスト合計得点の良い方からABCDEの5段階で評定した体力の総合評価	

※(中)は中学校

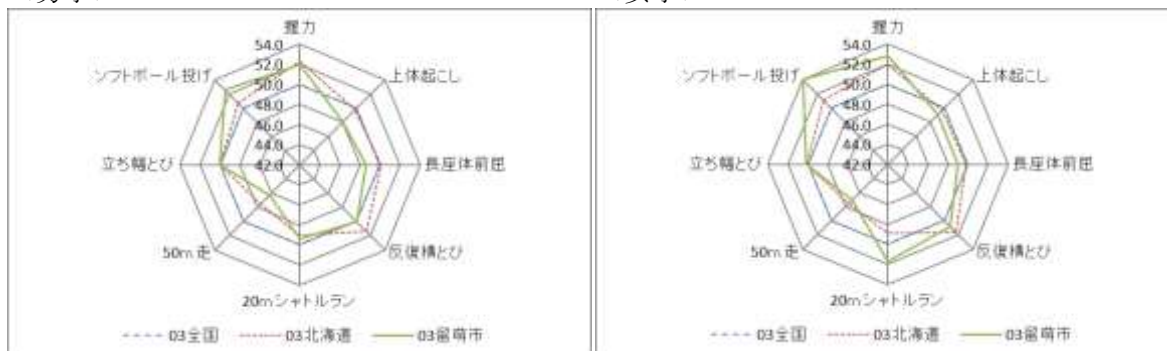
用語	解説
標本数	・平均値、標準偏差、T得点を算出した人数
平均値	・調査結果(テスト成績)の算術平均値で集団の尺度上の位置を示す。 「平均値＝調査結果の総和／標本数」
標準偏差	・調査結果の個人差の大きさを示す。平均値±標準偏差の範囲内に全体の68%が入る。 ・平均値±標準偏差の3倍の範囲内にほぼ全体が入る(いずれも正規分布の場合) 「標準偏差＝分散の平方根、分散＝偏差平方和／(標本数－1)、 偏差平方和＝偏差の平方の総和、偏差＝調査結果－平均値」
体力合計点	・実技テスト項目における得点の合計
T得点	・全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する平均値50点、標準偏差10点の標準得点。 「T得点＝50＋10×(調査結果－平均値)／標準偏差」

2. 小学校5年生の結果概要

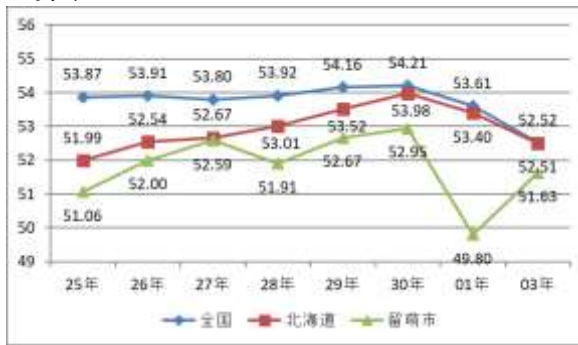
(1) 各種目の結果(全国を50とした時のT得点をレーダーチャートで表示)

<男子>

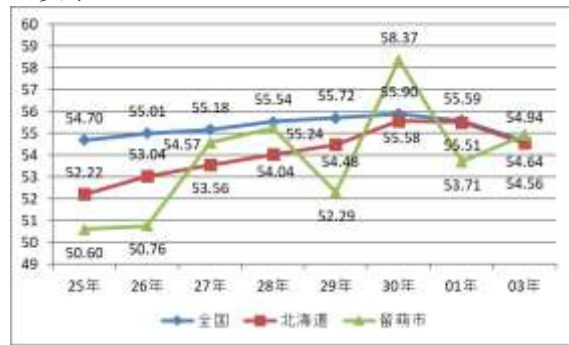
<女子>



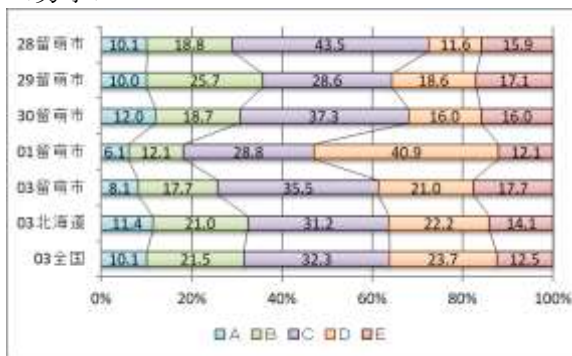
(2) 体力合計点（平均値）の推移
 <男子>



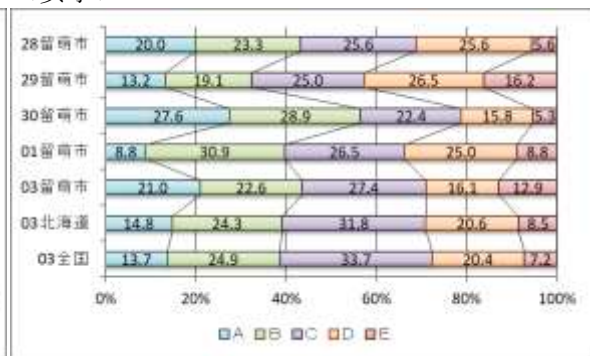
<女子>



(3) 総合評価の推移
 <男子>

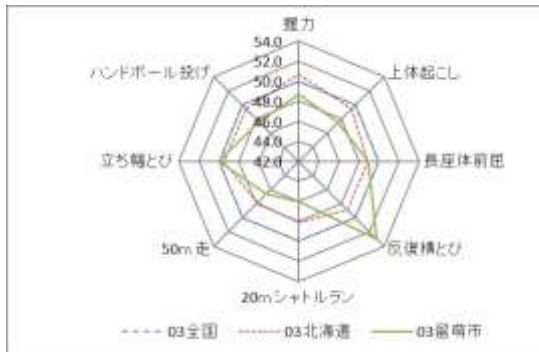


<女子>

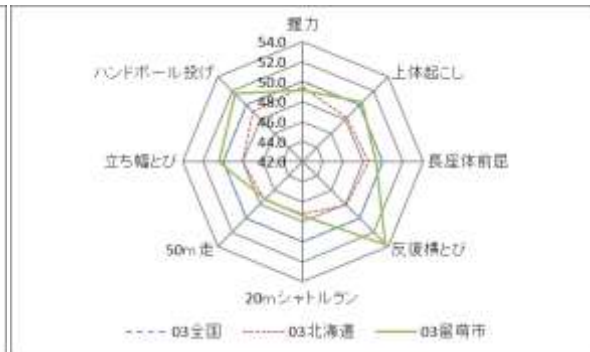


3. 中学校2年生の結果概要

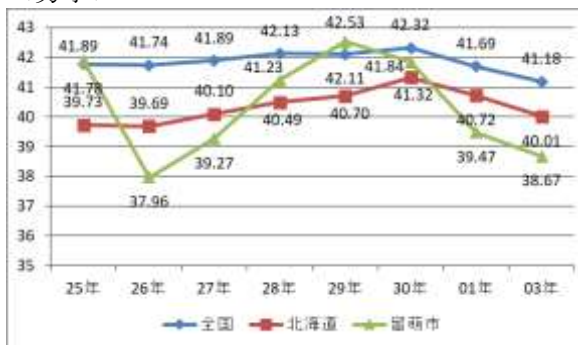
(1) 各種目の結果（全国を50とした時のT得点をレーダーチャートで表示）
 <男子>



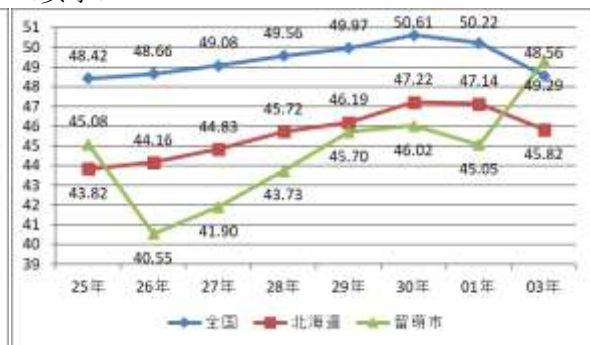
<女子>



(2) 体力合計点（平均値）の推移
 <男子>

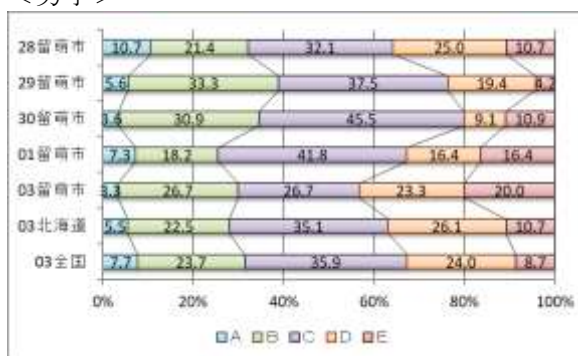


<女子>

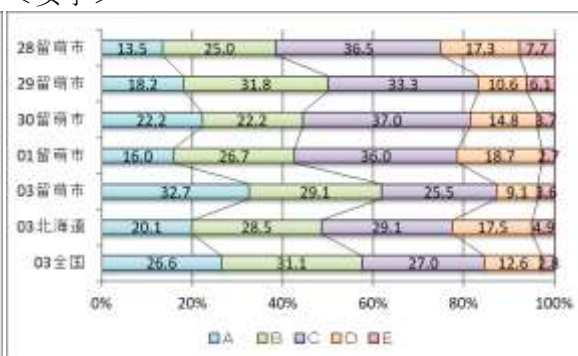


(3) 総合評価の推移

<男子>



<女子>



【小学校】

○各種目

- 男子は、「ソフトボール投げ」が全国及び全道平均を上回り、「握力」は全国平均を上回ったが全道平均を下回った。「立ち幅とび」が全国及び全道平均と同程度だった。「反復横とび」は全国平均と同程度で全道平均より下回った。「上体起こし」「長座体前屈」「50m走」は全国及び全道平均を下回った。「20mシャトルラン」は全国平均を下回ったが、全道平均を上回っている。
- 女子は、「握力」「20mシャトルラン」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」が全国及び全道平均を上回り、「反復横とび」は全道平均を下回ったが全国平均を上回った。「上体起こし」「長座体前屈」「50m走」は全国及び全道平均を下回っている。

○体力合計点（平均値）・総合評価

- 体力合計点は、男子は、全国及び全道平均をそれぞれ0.89ポイント、0.88ポイント下回っている。女子は、全国平均より0.3ポイント、全道平均より0.38ポイント上回っている。
- 総合評価は、男子は、A・B層の割合は01年度より大きく増加しているが全国及び全道の割合より相当少ない。女子は、A・B層の割合は01年度よりやや増加している。また、全国及び全道の割合よりもやや多い。

【中学校】

○各種目

- 男子は、「反復横とび」が全国及び全道平均を上回っている。「立ち幅とび」は全国平均と同程度で全道平均より上回っている。「握力」「上体起こし」「20mシャトルラン」「50m走」「ハンドボール投げ」は全国及び全道平均を下回っている。「長座体前屈」は全国平均を下回り、全道平均と同程度だった。
- 女子は、「上体起こし」「反復横とび」「立ち幅とび」「ハンドボール投げ」で全国及び全道平均を上回っている。「長座体前屈」「20mシャトルラン」は全国平均を下回り、全道平均より上回っている。「握力」「50m走」は全国及び全道平均を下回っている。

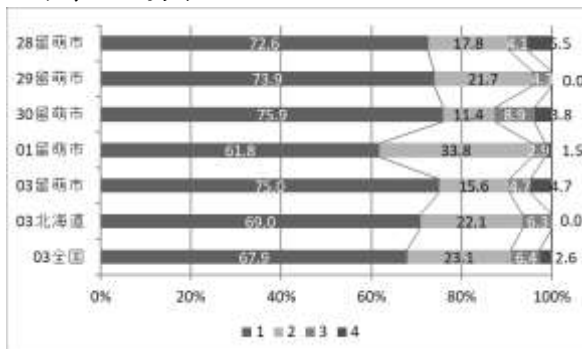
○体力合計点（平均値）・総合評価

- 体力合計点は、男子は、全国平均より2.51ポイント、全道平均より1.34ポイント下回っている。女子は、全国平均より0.73ポイント、全道平均より3.47ポイント上回っている。
- 総合評価は、男子は、A・B層の割合は01年度よりやや増加し、全国及び全道の割合とほぼ同程度であった。女子は、A・B層の割合は01年度より大きく増加し、全国の割合よりやや多く、全道の割合よりも相当多くなっている。

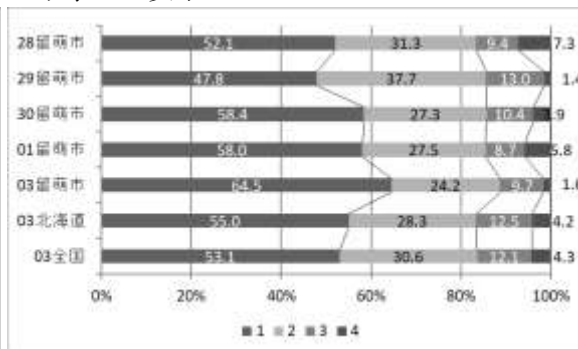
Ⅲ 児童生徒質問紙の調査結果の概要

質問1	運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。
	1 好き 2 やや好き 3 やや嫌い 4 嫌い

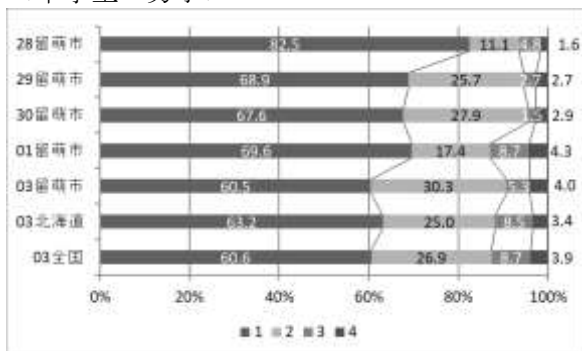
<小学生・男子>



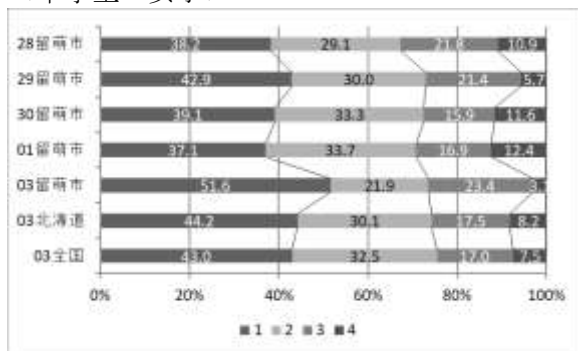
<小学生・女子>



<中学生・男子>

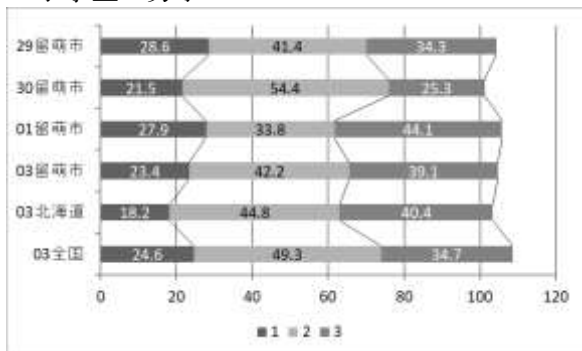


<中学生・女子>

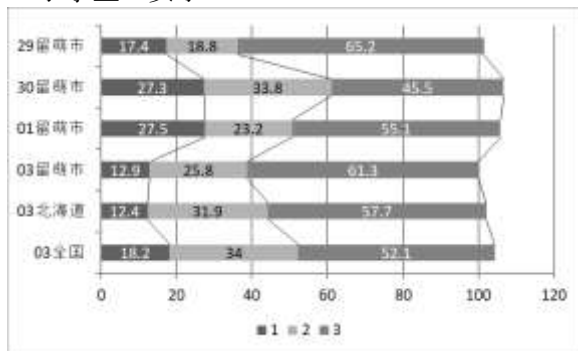


質問2	学校の運動部や地域のスポーツクラブに入っていますか。（スポーツ少年団をふくみます。）当てはまるものを全て選んで下さい。（複数回答可）
(小)	1 運動部 2 地域のスポーツクラブ 3 入っていない

<小学生・男子>

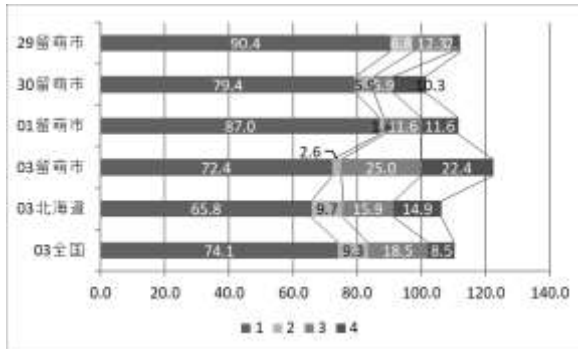


<小学生・女子>

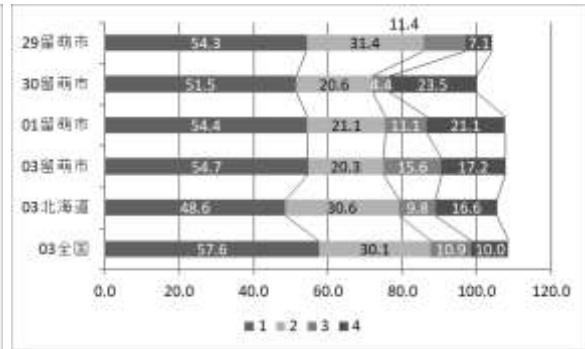


質問2	学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか。当てはまるものを全て選んで下さい。（複数回答可）
(中)	1 運動部 2 文化部 3 地域のスポーツクラブ 4 所属していない

<中学生・男子>

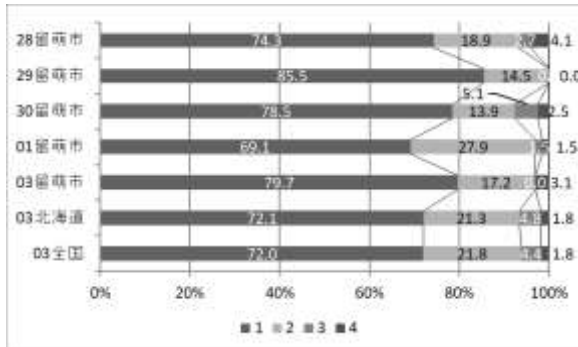


<中学生・女子>

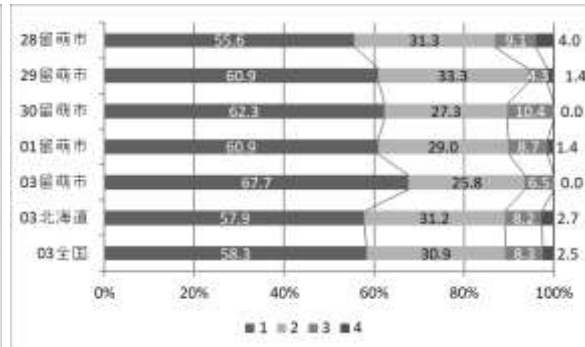


質問3	体育〔保健体育〕の授業は楽しいですか。 1 楽しい 2 やや楽しい 3 あまり楽しくない 4 楽しくない
-----	---

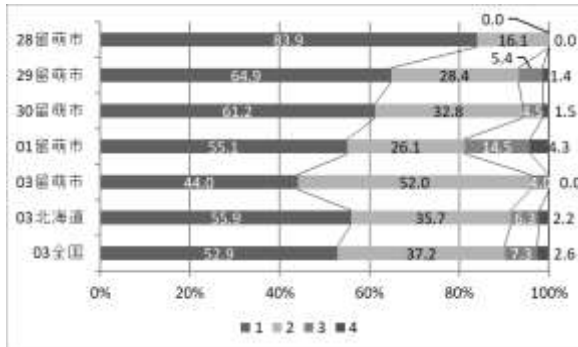
<小学生・男子>



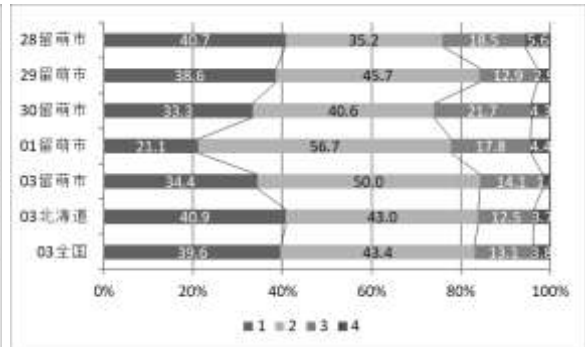
<小学生・女子>



<中学生・男子>

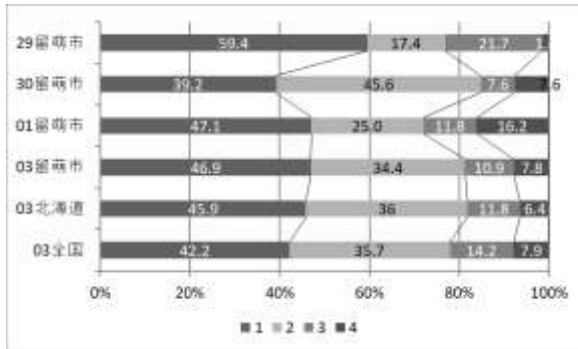


<中学生・女子>

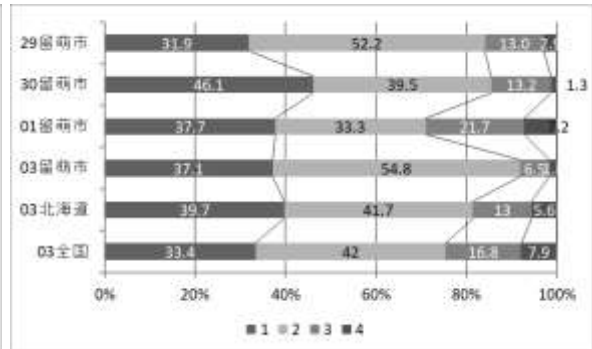


質問4	放課後や学校が休みの日に運動部〔運動部活動〕や地域のスポーツクラブ以外で、運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることがありますか。 1 よくある 2 ときどきある 3 あまりない 4 全くない
-----	---

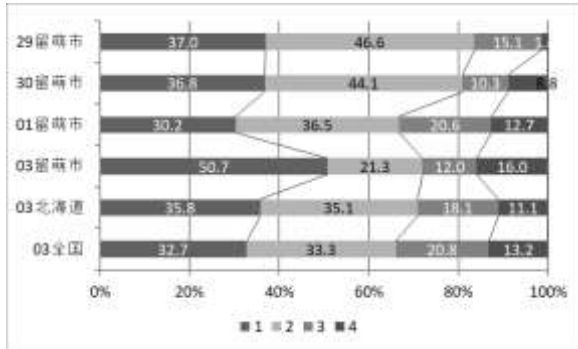
<小学生・男子>



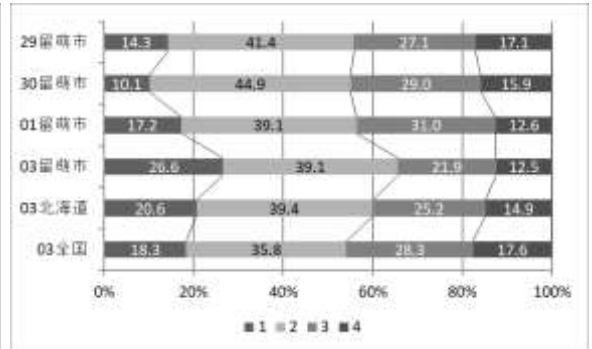
<小学生・女子>



<中学生・男子>

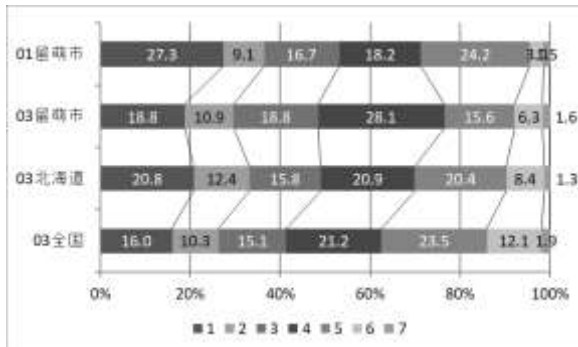


<中学生・女子>

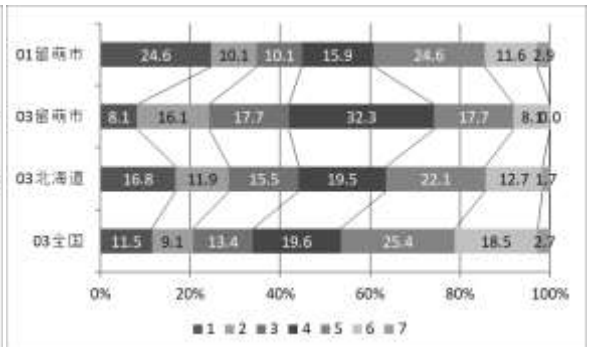


質問5	平日(月～金曜日)について聞きます。学校以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。
	1 5時間以上 2 4時間以上5時間未満 3 3時間以上4時間未満
	4 2時間以上3時間未満 5 1時間以上2時間未満 6 1時間未満
	7 まったく見ない

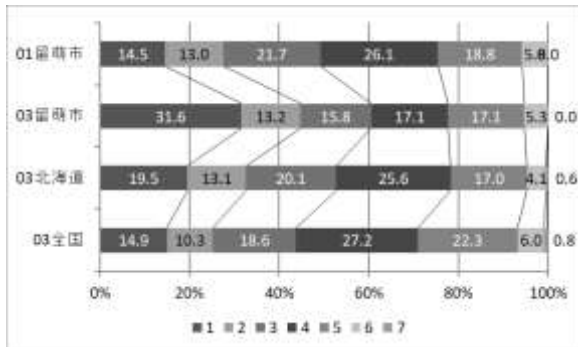
<小学生・男子>



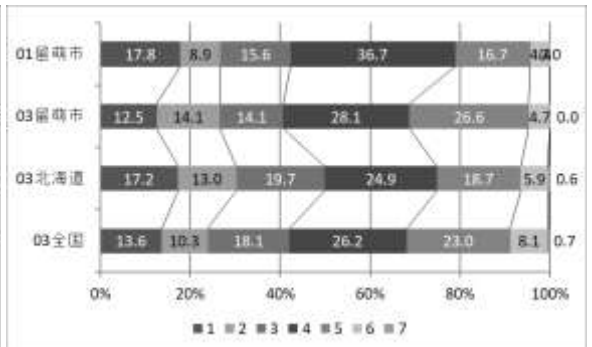
<小学生・女子>



<中学生・男子>

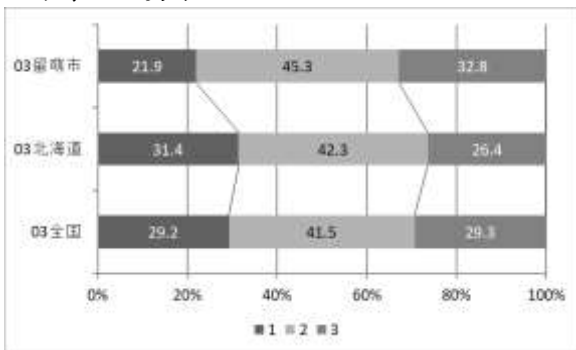


<中学生・女子>

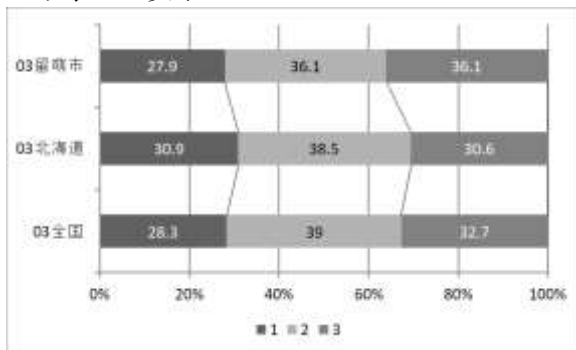


質問6	<p>新型コロナウイルス感染症の影響前（令和2年3月以前）と現在とを比較して、あなたの運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツへの取組はどのように変化しましたか。</p> <p>1 以前より運動やスポーツをする時間が増えた 2 以前より運動やスポーツをする時間が減った 3 変化はない</p>
-----	--

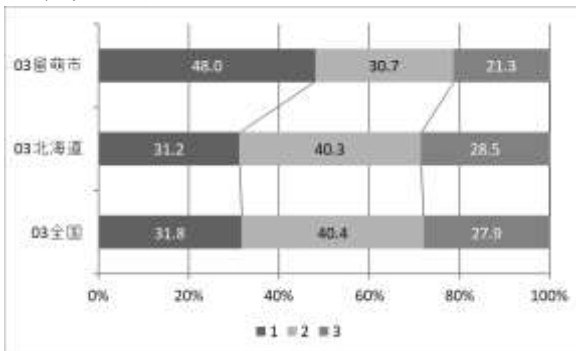
<小学生・男子>



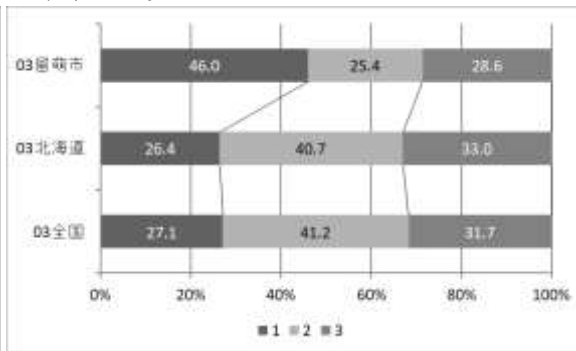
<小学生・女子>



<中学生・男子>



<中学生・女子>



【小学校】

- 運動やスポーツをすることは好きと肯定的に回答した児童の割合は、男子は全国と同程度で01年度より少なくなっている。女子は全国より多く、01年度に比べやや多くなっている。
- 学校の運動部に入っている児童の割合は、男子は全国と比べ同程度で、01年度よりやや少なくなっている。女子は全国と比べ少なく、01年度に比べ相当少なくなっている。また、地域のスポーツクラブに所属している児童は、男子は全国と比べ相当少なく、01年度より相当多くなっている。女子は全国より相当少なく、01年度とはほぼ同程度となっている。
- 体育の授業は楽しいと肯定的に回答した児童の割合は、男子は全国と比べやや多く、01年度とはほぼ同程度である。女子は全国及び01年度と比べやや多くなっている。
- 放課後や学校が休みの日に運動部活動等以外で運動やスポーツをする児童の割合は、男子は全国に比べやや多く、01年度と比べて相当多くなっている。女子は全国及び01年度と比べ、どちらも相当多くなっている。
- 平日に1日に3時間以上テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている児童の割合は、男子は全国と比べて相当多くなっているが、01年度よりやや少なくなっている。女子は全国と比べ相当多く、01年度とはほぼ同程度となっている。
- 新型コロナウイルス感染症の影響前と現在とを比較して、運動やスポーツをする時間が減ったと回答した児童の割合は、男子は全国に比べやや多く、女子は全国とほぼ同程度であった。

【中学校】

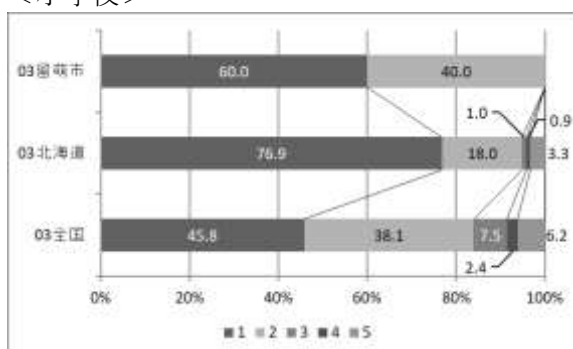
- 運動やスポーツをすることは好きと肯定的に回答した生徒の割合は、男子は全国及び01年度

- と比べやや多くなっている。女子は、全国及び01年度と比べほぼ同程度となっている。
- ・部活動として運動部に所属している生徒の割合は、男子は全国とほぼ同程度で、01年度より相当少なくなっている。女子は全国及び01年度とほぼ同程度であった。また、地域のスポーツクラブに所属している生徒は、男子は全国に比べ多く、01年度と比べ相当多くなっている。女子は全国及び01年度よりやや多くなっている。
 - ・体育の授業は楽しいと肯定的に回答した生徒の割合は、男子は全国に比べ多く、01年度と比べ相当多くなっている。女子は全国とはほぼ同程度で、01年度より多くなっている。
 - ・放課後や学校が休みの日に運動部活動等以外で運動やスポーツをする生徒の割合は、男子は全国及び01年度に比べ多くなっている。女子は全国及び01年度と比べ相当多くなっている。
 - ・平日に1日に3時間以上テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている生徒の割合は、男子は全国及び01年度と比べ相当多く、女子は全国及び01年度とほぼ同程度になっている。
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響前と現在とを比較して、運動やスポーツをする時間が減ったと回答した生徒の割合は、男女とも全国と比べ相当少なかった。

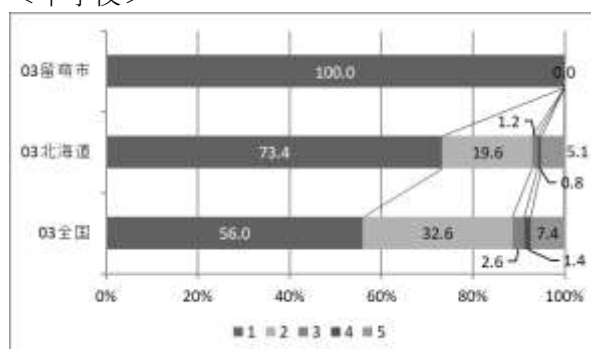
IV 学校質問紙の調査結果の概要

質問1	これまでの全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行いましたか（行う予定ですか）。
	1 行った 2 行う予定である 3 特定の学年のみ行った 4 特定の学年のみ行う予定である 5 行わない（行う予定はない）

<小学校>

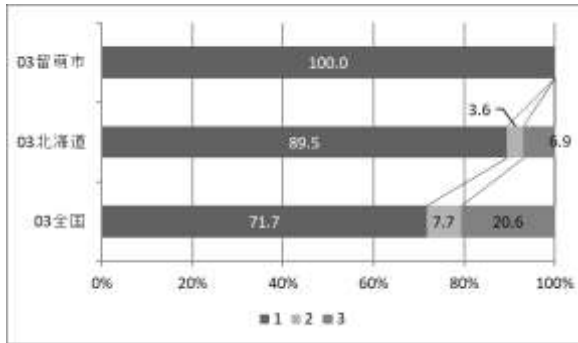


<中学校>

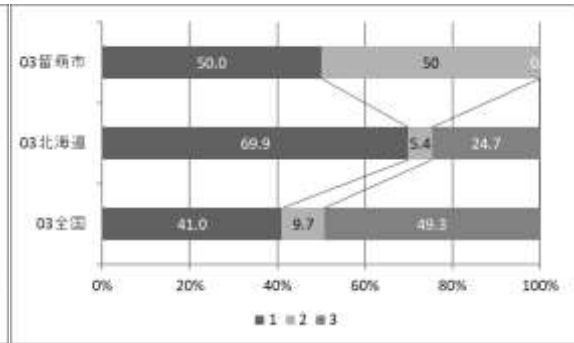


質問2	令和2年度に、体育〔保健体育〕の授業以外で、全ての児童〔生徒〕の体力・運動能力の向上に係る取組を行いましたか。
	1 〔全ての学年で〕行った 2 一部〔特定の〕の学年で行った 3 行わなかった

<小学校>

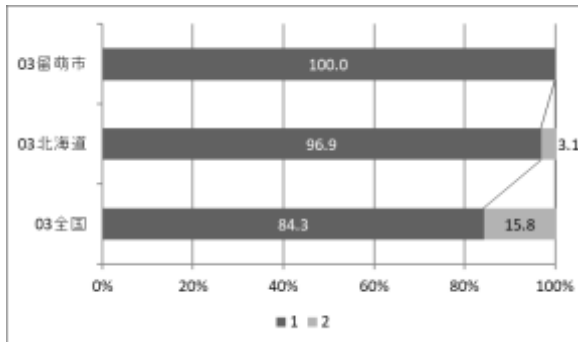


<中学校>

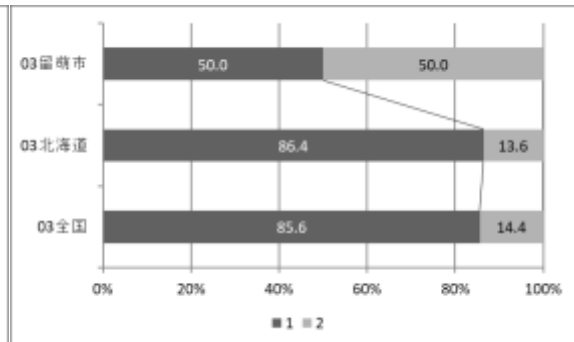


質問3	教師同士で、児童〔生徒〕の体力・運動能力の向上に関する取組、体育の授業における指導方法の工夫・改善について検討する機会がありますか。
	1 ある 2 ない

<小学校>

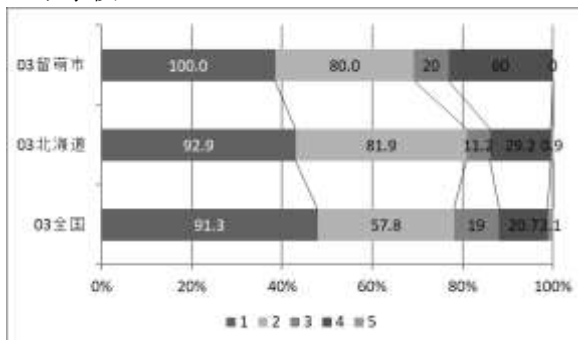


<中学校>

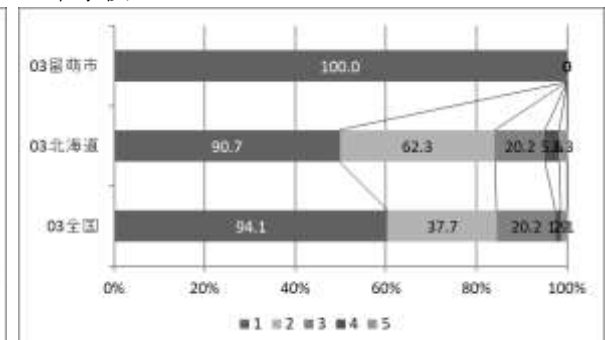


質問4	学校の全部を休業していた期間が終了した以降に、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、児童〔生徒〕の体力向上や運動習慣確立のために、学校としてどのような取組を行いましたか。（複数回答可）
	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業において、三密を避けながら、なるべく児童生徒の運動量が多くなる活動に配慮した授業づくりを行った。 2 中休みや昼休みにおいて、運動場や体育館を開放し、児童〔生徒〕が自由に運動できる場を確保した。 3 放課後や自宅において取り組むことができる運動に関する課題を出した。 4 その他、児童〔生徒〕の運動機会確保のための取組を行った。 5 特に行っていない。

<小学校>



<中学校>



【小・中学校】

- ・調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善は、予定を含めて、全ての小中学校で行われている。
- ・体育〔保健体育〕の授業以外の児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組は、全ての小中学校で行われているが、一部の中学校では特定の学年のみの取組となっている。
- ・教員同士での児童生徒の体力・運動能力の向上に関する取組等については、全ての小学校で検討する機会が設けられているが、一部の中学校では機会が設けられていない。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、児童生徒の体力向上や運動習慣確立のための取組については、全ての小中学校で三密に配慮しつつ運動量が多くなる活動になるよう工夫した授業が行われている。また、小学校では、まとまった時間で体育館等を開放し、児童が自由に運動できる場を確保するなどの取組もされている。

V おわりに

体力は、あらゆる活動の源として、健康維持のほか、意欲や気力の充実にも大きくかかわっており、子どもたちが生涯にわたって心身ともに健やかに生きるための基盤となるものです。そのため、幼児期から、運動に親しむ資質や能力を育成し、体力及び運動能力の向上に努めることが大切と考えます。

各学校では、新体力テストなどの結果を全教職員で共有し、実施に至る取組の工夫など、子どもたちが持っている力を十分に発揮できるよう、年間体力向上プランの見直しを図るとともに、体育的活動や授業改善に活用するなど、体力・運動能力向上に向けた検証改善サイクルを確立し成果を上げてきています。特に、近年のコロナ禍による様々な活動の制約によって運動の機会が減っているとの報告もされていますが、留萌市内の各学校においては、授業以外での運動の機会を工夫して見出し、その影響をなるべく少なくなるよう努力されており、運動の機会に関しては、子どもたちへのコロナ禍の影響は限定的との結果となっています。

スポーツ庁の報告書からは、全国・全道の調査結果の体力合計点が平成30年度を境に低下傾向に転じており①運動時間の減少、②学習以外のスクリーンタイム（TV・DVD等の視聴時間）の増加、③肥満傾向の子どもの増加…の3点が原因とされています。

留萌市の結果においても、令和元年度との比較で、令和3年度は、小学校男女と中学校女子で体力合計点が向上していますが、②のスクリーンタイムと③の肥満傾向の子どもの割合は依然として全国全道と比べ多い状況にあります。

体力・運動能力向上や運動習慣の改善は、子どもたちの日常生活とも大きく関わりがあり、その改善に向けた取組は、学校だけではなく家庭や地域との連携も重要と考えます。

今後、引き続き各学校における「1校1実践」の取組や、適切な運動量を確保する体育・保健体育科等の授業の質的改善、運動を意識した生活習慣の定着を進めるとともに、家庭、地域、関係機関と連携した、運動機会の充実と運動時間の確保を図る取組を推進していくことが必要です。